

(1)

昭和21年7月10日第3種郵便物認可

和歌山県は総合27位

福井国体が閉幕

福井県で開催された第73回(体)は9日、閉幕した。和歌山国民体育大会「福井しあわせ山県は総合27位だった。元気国体2018」(福井国) 和歌山県選手団は、地元開

催だった2015年の和歌山国体で天皇杯(男女総合優勝)を獲得。16年の岩手国体は総合20位、17年の愛媛国体は同26位だった。今回は10位台を目標にしていた。女子総合(皇后杯)は36位だった。県選手団の高橋博之総監督(県体育協会理事長)は「和歌山国体以前から仕事と競技を両立させ、高い競技力を維持して活躍した成年選手や、和歌山国体時に少年で出場した選手が成年になり好成績を収めた競技があった。競技力のさらなる向上を目指し、選

手のサポートをより一層推進する」とコメントした。

◇

福井国体の陸上競技は5、8日、福井市の県営陸上競技場であった。田辺工業高校の都築勇貴君(3年)が少年男子A5000円で14分21秒99を記録して14位、同校の井瀧洸太君(2年)が少年男子共通5000円競歩で21分59秒26を記録して14位だった。